

1 社会・治安情勢

当国では在留邦人が多数居住するルサカ市を取り囲むようにコンパウンド（貧困層地区）が存在し、儀式殺人事件などの凶悪犯罪が発生しやすい傾向にある。貧困率は依然として高く、特に首都ルサカ市、南部州リビングストーン市観光地区、コッパーベルト州の主要都市等を中心に失業者やエイズ孤児等が溢れており、近年ではザンビア政府が行った断水措置により、一部地域においてコレラが流行する事態が発生した。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 在留邦人が多数居住し比較的安全とされているルサカ市においても銃器を使用した複数犯による住居侵入強盗、車両強盗、路上強盗が断続的に発生しており、特に、夕方から深夜にかけての犯行が多い傾向である。日中であっても人の集まる所では、スリや置き引きなどが発生しており、最近では偽札を使用した犯罪も増加している。また、最近では使用人や自宅を警備している警備員が共謀し、留守になった自宅で窃盗を行う事案が多くなってきている。

(2) 邦人被害事案

1月21日、邦人企業の事務所に賊が侵入し、デジタルカメラやCDラジオを窃取するという事案が発生した。事件当時、事務所は無人であり、邦人に被害はなかった。

2月9日、チョマにて在留邦人宅に賊が侵入。賊は住戸の外壁を乗り越えて敷地内に侵入、寝室の窓ガラスを取り外したうえでバーグラーを切断、折り曲げるなどして寝室内に侵入している。在留邦人に被害はなかった。

(3) 邦人以外の被害事案

ア 2月13日、東部州のCHIPATAにて深夜旅行代理店に複数の賊が侵入し、現金3000ドルと18000クワチャを盗んで逃走。この賊達は以前もCHIPATAにて窃盗を行っていることが警察の調査により判明している。

イ 2月19日、ルアプラ州のSAMFYAにて子供が殺害され、臓器が商用目的で切り取られるという事案が発生している。

ウ 3月12日、ルサカ市内において13歳の少女が何者かにレイプされ、その後絞殺される事案が発生している。犯人は現在も捕まっていない。

3 テロ・爆弾事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

- 5 日本企業の安全に関する諸問題
問題とされる情報に接していない。